

UHF ANTENNAS

UHF ch.13 ~ 52

U2SWL20N



水平偏波用

強・中電界地域用

U2SWL26N



水平偏波用

強・中・弱電界地域用

U2SWL20VN



垂直偏波用

強・中電界地域用

障害物があり、見通しの悪い場所などでは受信できないことがあります。

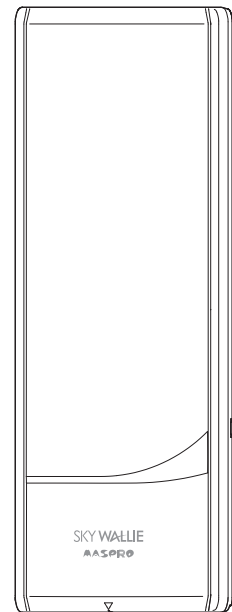
75Ω用(F型端子)

取扱説明書

保証書付

SKY WALLIE

スカイウォーリー



目次

ページ

付属品	1
安全上のご注意	2
使用上のご注意	2
設置上のご注意	3
各部の名称	3
接続例	4
ブースター・ミキサー・2分配器を取付ける	4
ケーブルを接続する	
1. ケーブルにF型コネクタを取付ける	5
2. アンテナにケーブルを接続する	5
アンテナを設置する	
壁面に設置する場合	6
マスト・ベランダに設置する場合	7
アンテナの取付位置と可動範囲	8
アンテナの方向を調整する	8
アンテナの取外し方	10
テレビがきれいに見られないときは	10
規格表	11
性能	12
保証書	12

本機には、接続ケーブルを付属していません。
設置場所に応じて、必要な長さの75Ωケーブルをお買求めください。

付属品

防水キャップ	1個
F型コネクタ(5Cケーブル用)	1個
レンチ(10、11、17mm)	1個
壁面取付金具	1個
マスト固定金具	1個
マスト固定ボルト	2本

- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、いつでも見ることが出来る場所に保管してください。



DHマーク(デジタルハイビジョン受信マーク)は、一般社団法人 電子情報技術産業協会が審査・登録された一定以上の性能を有するUHFアンテナ、UHF帯域(ch13~ch52)に対応したブースタに付与されるシンボルマークです。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は、注意(警告を含む)が必要な内容があることを示しています。		○記号は、禁止の行為を示しています。		●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。
---	-----------------------------------	---	--------------------	---	---------------------------------

警告

	●アンテナや付属品を包装しているポリ袋は、お子様の手の届くところに置かないでください。頭からかぶると窒息し、死亡の原因となります。 ●アンテナを煙突の近くなど高温になる場所に設置しないでください。火災の原因となります。		●雷が鳴出したら、アンテナ・ケーブルには触れないでください。感電の原因となります。
---	--	---	---

注意

	●雨降りや強風など、天候の悪い日の屋外での取付作業は非常に危険ですから、絶対にしないでください。また、夏の炎天下では、屋根が非常に熱くなっていますから注意してください。 ●腐食が進んで劣化したアンテナや取付金具を、そのまま使用しないでください。落下して、人や物などに損害や危害を与える原因となることがあります。アンテナや取付金具は、定期的に点検してください。		●アンテナ・取付金具・マストなどに異常があったり、ねじやボルトなどがゆるんだりしていないか、定期的に点検してください。また、台風や大雪などの後は、安全を確保してから、アンテナ・取付金具・マストなどを必ず点検してください。アンテナが破損・変形した場合、新しいものと交換してください。そのままにしておくと、アンテナや取付金具などの部品が、破損、落下して、けがの原因や建造物に損害を与える原因となることがあります。 ●テレビやレコーダーからの75Ωケーブルをアンテナへ接続するときは、テレビやレコーダーのACプラグをACコンセントから抜いて作業を行なってください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると、使用しているテレビによっては、感電の原因となることがあります。 ●アンテナを取付けた状態で、強風時には大きな荷重がかかります。安全性と強度を充分確保できる壁面にしっかりと取付けてください。アンテナが落下して、けがの原因となることがあります。
	●高所に取付ける場合、アンテナやアンテナ部品の落下などによって、人や物などに危害や損害を与えたりすることがないように、安全な場所を選んで設置してください。 ●アンテナの取付工事を行うときは、落下防止のため、ネットを張ったり、アンテナや取付金具・工具などをひもで固定物に結んだりするなど、安全対策をしてから作業してください。 ●アンテナの取付作業は、安全確保のため、必ず2人以上で行なってください。 ●高所での作業は非常に危険です。万全の安全対策をして取付けてください。また、屋根に登ると、思ったより高く感じられ、足場も不安定です。滑らないように、充分気をつけて作業してください。 ●感電防止のため、アンテナは電線(電灯線・高圧線・電話線など)からできるだけ離れた場所に設置してください。		●アンテナを高所に設置する場合、技術と経験が必要ですから、必ず販売店にご相談ください。 ●壁面に取付ける場合、壁面の強度がわかる工務店に、必ずご相談ください。

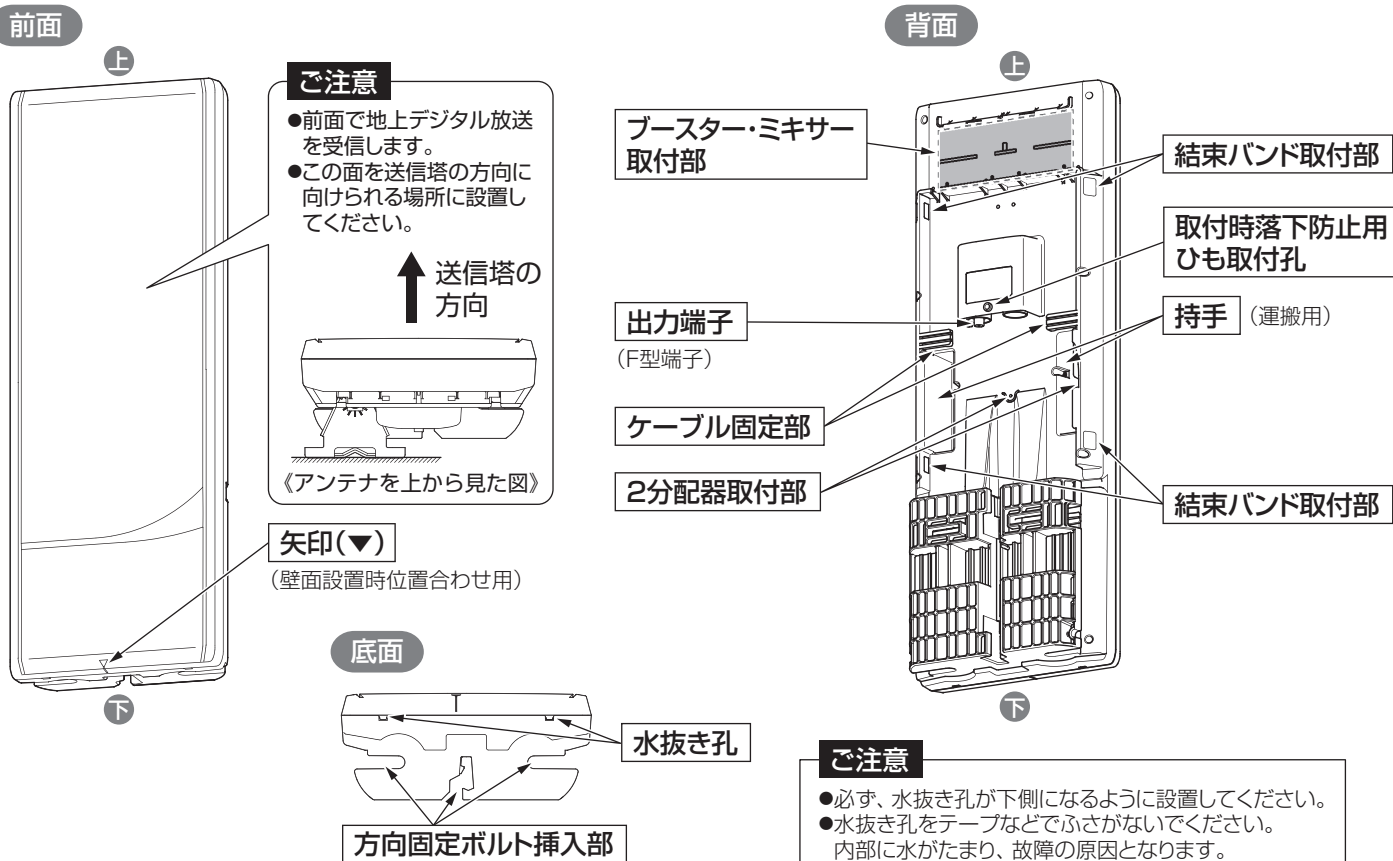
使用上のご注意

- アンテナに塗料やワックス、はっ水剤などを塗らないでください。アンテナの故障やアンテナの表面をいためる原因となります。
- アンテナの前面に市販の反射テープなど金属製のラベルを貼付けしないでください。アンテナの性能が低下します。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは、アンテナの表面をいためますから、アンテナの掃除などには使用しないでください。

設置上のご注意

- アンテナを上下逆や横向きに取付けると、内部に雨水がたまり、故障の原因となります。アンテナの向きを確認して、正しく取付けてください。
- インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は使用しないでください。方向固定ボルトの変形や破損の原因となります。
- 壁面に取付ける場合、一度取付けると壁面に孔が開きます。事前に設置したい場所で、地上デジタル放送の全チャンネルが受信できることをテレビまたはレベルチェッカーなどで確認してから、取付けてください。
- 壁面取付の際は下地がないと、ねじが効かないため、工務店などの専門業者にご相談ください。
- 地上デジタル放送は、直進性が強く、障害物によるレベル減衰が大きくなり受信できなくなるため、送信塔方向の見通しが良い、高い場所を選んでください。
- さらに、アンテナの高さを約2mの範囲で変えることにより、受信状態がより良くなる場合があります。
- アンテナに多量の雪が積もった場合、雪の重みでアンテナが破損したり、方向が変わったりする恐れがあります。安全には充分注意して、積もった雪を落としてください。

各部の名称



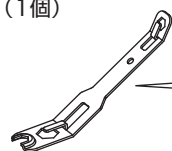
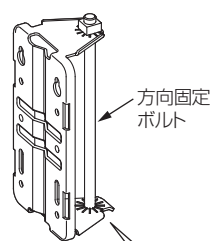
付属品

壁面取付金具 (1個)

マスト固定金具 (1個)

マスト固定ボルト (2本)

レンチ (10、11、17mm) (1個)

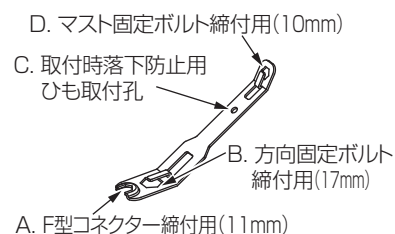


ご注意

付属の壁面取付金具以外は使用しないでください。

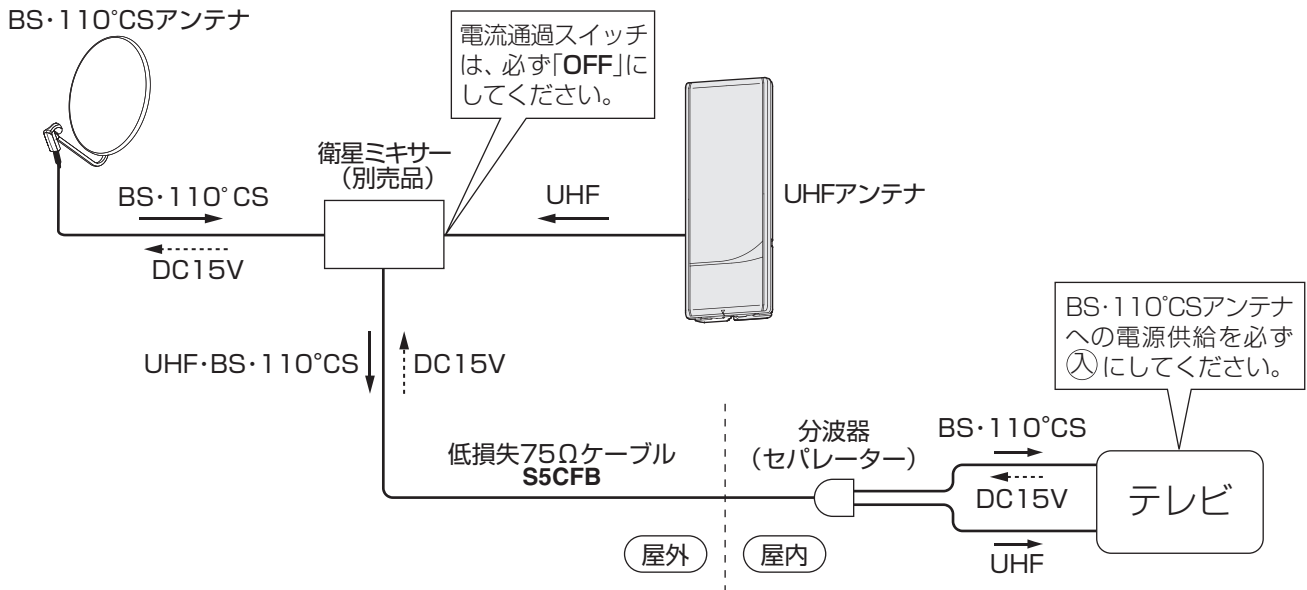
レンチに記載されている英字について

アンテナの設置・方向調整で付属のレンチを使用するときは、本紙の文中に記載されている英字の部分を使用して、設置・方向調整を行なってください。



接続例

- 別売の衛星ミキサーを使用することにより、地上デジタル放送と、BS・110°CSアンテナで受信したBS・110°CSデジタル放送を1本のケーブルで引き込むことができます。
- 4K8K放送を伝送する場合、4K8K放送に対応している機器、ケーブルを使用してください。



ブースター・ミキサー・2分配器を取付ける（別売のブースターなどを使用する場合）

- アンテナ背面に別売のブースター、ミキサー、2分配器を取付けられます。
- ブースター、ミキサーは、横からスライドすることで簡単に取付けられます。
- ブースターまたはミキサーと、2分配器は同時に取付けることができます。

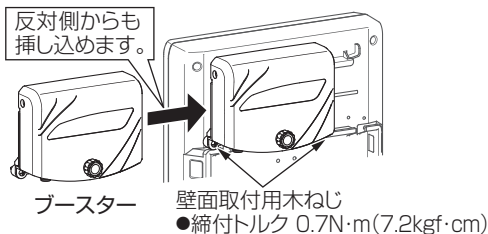
ご注意

- アンテナを壁面・ベランダに取付ける前に、ブースター・ミキサー・2分配器の取付け、およびケーブルの接続を行なってください。
- アンテナ設置後、ブースターのふたを開けるときは、アンテナを左右75°傾けてください。（アンテナ本体を右側または左側に設置時）
- 壁面取付金具を中央に取付ける場合、傾ける方向とは逆にブースターを取付けてください。（アンテナを10°傾けたとき、ブースターの先端が壁面に接触します）
- 当社製のブースター・ミキサー・屋外用2分配器以外は取付けることができません。

- ブースター・ミキサー・2分配器の蝶ナット、Uボルト、マスト取付金具は取外してください。
- ブースター・ミキサー・2分配器の壁面取付用木ねじが無い場合のねじ推奨品
タッピングねじ1種、呼び径3mm、首下長18mm、バインド頭

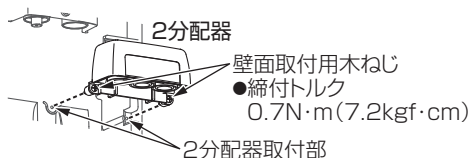
ブースターの取付方法

- ①アンテナ背面のブースター・ミキサー取付部に、別売のブースターを横からスライドさせます。
- ②ブースターに付いている壁面取付用木ねじ（1本以上）をねじ込みます。

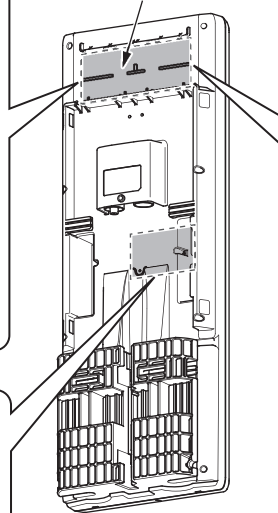


2分配器の取付方法

アンテナ背面の2分配器取付部に、別売の2分配器に付いている壁面取付用木ねじ（2本）をねじ込みます。

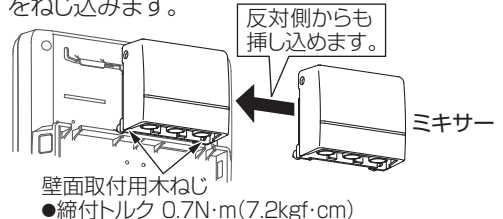


ブースター・ミキサー取付部



ミキサーの取付方法

- ①アンテナ背面のブースター・ミキサー取付部に、別売のミキサーを横からスライドさせます。
- ②ミキサーに付いている壁面取付用木ねじ（1本以上）をねじ込みます。



推奨ケーブル長

- ブースター～アンテナ 間：約50cm
- ミキサー～アンテナ 間：約50cm
- ブースター～2分配器 間：約50cm
- ミキサー～2分配器 間：約50cm

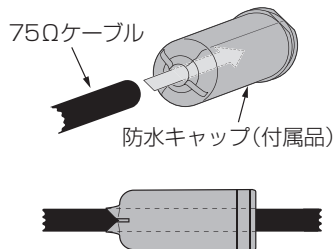
ケーブルを接続する

1. ケーブルにF型コネクタを取り付ける

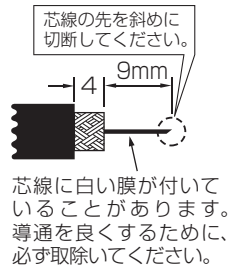
F型コネクタは、確実に取付けないと、受信不良の原因となります。説明をよく読んで取付けてください。

- 接触不良やショートを防ぐため、コネクタは正しい方法で取付けてください。
- 75Ωケーブルは5Cケーブルまたは4Cケーブルをお使いください。
- 付属のF型コネクタは5Cケーブル用です。4Cケーブルの場合、別売の4Cケーブル用F型コネクタをお使いください。

①ケーブルを付属の防水キャップに通します。

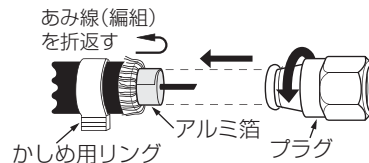


②ケーブルを加工します。
(加工寸法は原寸大です)



③プラグを取り付けます。

1. かしめ用リングにケーブルを通します。
2. あみ線(編組)を折返します。
3. プラグの内側にアルミ箔が入るように、アルミ箔の巻付けられている方向にプラグを回しながら、しっかりと押し込みます。

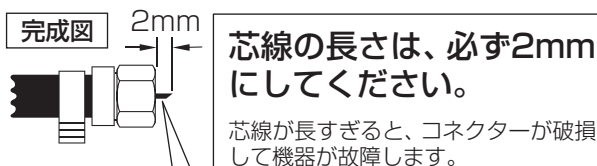
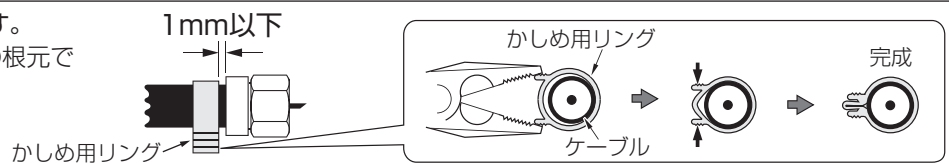


あみ線・アルミ箔のショートに注意

あみ線(編組)やアルミ箔の切れ端は、取除いてください。芯線に接触するとショート状態になり、テレビを見られなくなります。



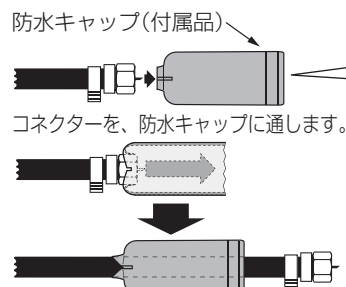
④かしめ用リングをペンチで圧着します。
プラグが抜けないように、プラグの根元でしっかりと圧着してください。



芯線は、まっすぐにしてください。
芯線が曲がっていると、ショートして機器が故障します。



コネクタ取付け後でも防水キャップにケーブルを通せます



注意

防水キャップに通したときに、コネクタの芯線が目や指にさらさないように注意してください。

2. アンテナにケーブルを接続する

ご注意

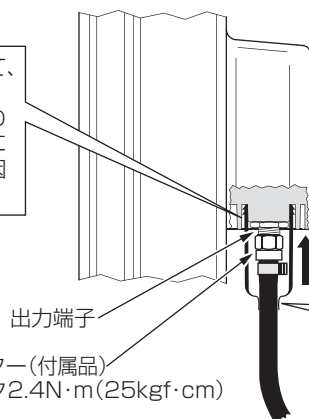
- 75Ωケーブルには、必ず、付属の防水キャップを通して、出力端子に取付けてください。
- 防水キャップを取付けないと、雨水が浸入してショート状態になり、受信不良の原因になります。
- アンテナを壁面に設置した場合、アンテナ本体を中央に取付けると、ケーブルを接続できません。アンテナを設置する前に、出力端子へケーブルを接続してください。

①F型コネクタを、アンテナの出力端子へ接続し、付属のレンチ(A)で締付けます。

②付属の防水キャップを矢印の方向へ確実に押し込みます。

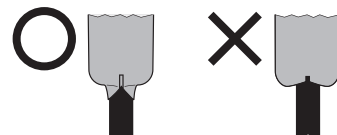
●ケーブルは、コネクタや防水キャップに無理な力がかからないように配線してください。

- 付属の防水キャップは曲がらないようにして、まっすぐ確実に押し込んでください。
- 防水キャップが外れていたり、曲がっていたりすると、雨水が防水キャップやケーブル内に浸入してショート状態になり、受信不良の原因になります。



ご注意

- 防水キャップにビニールテープなどを巻付けて、ケーブルに固定しないでください。雨水がたまり、故障の原因となります。
- 防水キャップの端は中に入り込まないようにしてください。



アンテナを設置する

壁面に設置する場合

壁面に壁面取付金具を設置した後、アンテナ本体を壁面取付金具に組付けます。

壁面設置に必要なもの

- 取付けには、⓪ドライバーが必要です。
- 取付ける壁面に合わせて、木ねじやコンクリートアンカーを別途ご用意ください。

1. 設置する場所での受信確認 **重要**

壁面に取付ける場合、一度取付けると壁面に孔が開きます。事前に設置したい場所で、地上デジタル放送の全チャンネルが受信できることをテレビまたはレベルチェッカーなどで確認してから、取付けてください。

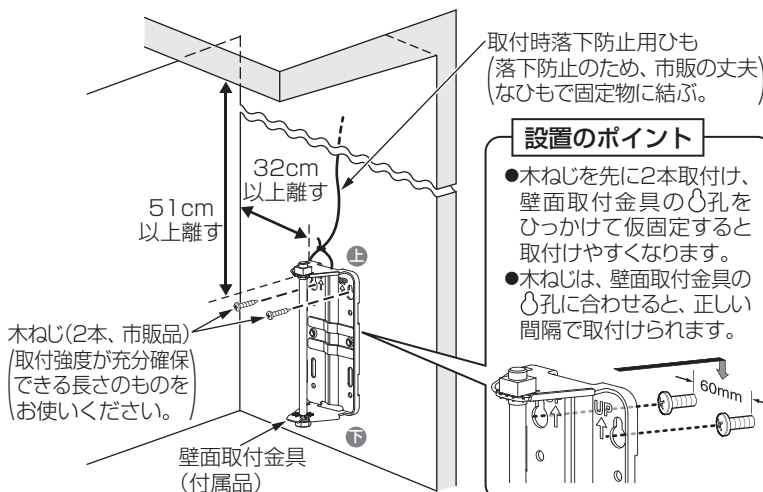
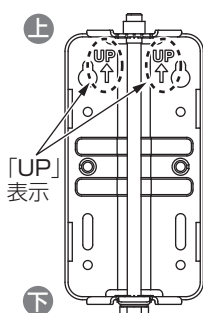
2. 壁面取付金具の仮固定

壁面取付金具の上下を確認(右下図参照)し、市販の直径4.1～5.1mmの木ねじ(または呼び径4～5mmのタッピングビス)2本で壁面との垂直を確認して仮固定します。

ご注意

- 壁面取付金具は、垂直に取付けてください。垂直にしないとアンテナが傾き、最良の受信感度が得られません。
- 壁面取付金具は、軒より51cm以上、アンテナを挿入する側の壁からは32cm以上離して取付けてください。
- 木ねじは必ず強度が充分確保できる柱などに取付けてください。
- 取付けるねじ孔の間には防水処理が必要になります。設置の際は工務店などの専門業者に、必ずご相談ください。

壁面取付金具(付属品)



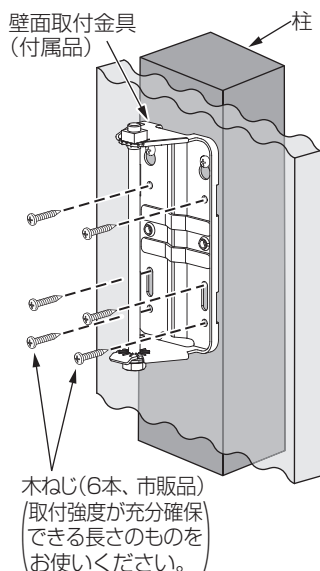
取付時落下防止用ひも(落下防止のため、市販の丈夫なひもで固定物に結ぶ。)

設置のポイント

- 木ねじを先に2本取付け、壁面取付金具の○孔をひっかけて仮固定すると取付けやすくなります。
- 木ねじは、壁面取付金具の○孔に合わせて、正しい間隔で取付けられます。

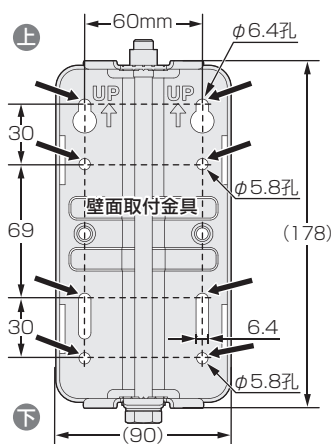
3. 壁面取付金具の取付け

市販の直径4.1～5.1mmの木ねじ(または呼び径4～5mmのタッピングビス)6本で壁面にしっかりと固定します。



コンクリートアンカー取付寸法

コンクリート製の壁面に取付ける場合、市販のコンクリートアンカーを下図の矢印の位置(8か所)に取付けてください。

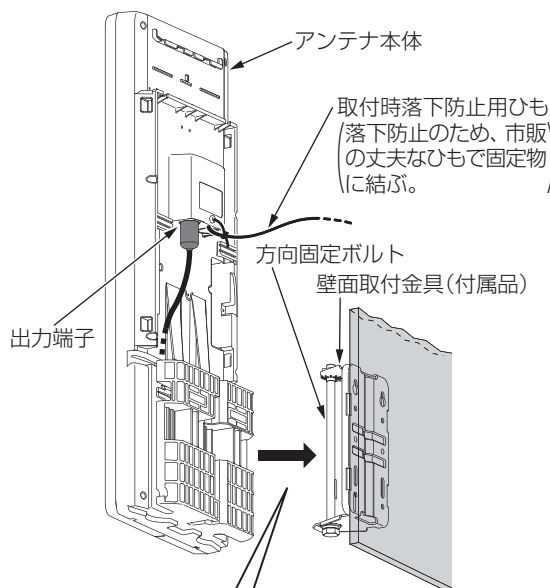


4. アンテナ本体の取付け

アンテナ本体を壁面取付金具に取付けます。

ご注意

- アンテナ本体を中央に取付ける場合、壁面取付金具に取付ける前に、出力端子へケーブルを接続してください。
- ケーブルの接続に関しては、p.5「2.アンテナにケーブルを接続する」をご覧ください。

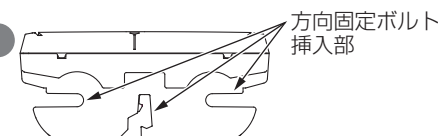


アンテナ本体を取付ける位置

アンテナを向ける方向により、アンテナを取付ける位置(方向固定ボルト挿入部)を選択します。

- p.8「アンテナの取付位置と可動範囲」を参考にしてください。

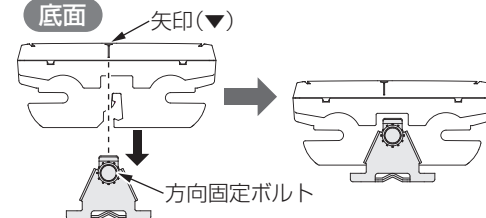
底面



中央に取付ける場合

アンテナカバー下部の矢印(▼)を目安に、方向固定ボルトと矢印位置を合わせて、奥に音がするまで押し込みます。

底面

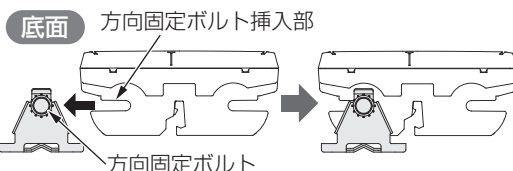


右側または左側に取付ける場合

方向固定ボルトにアンテナ本体の方向固定ボルト挿入部を、奥に音がするまで挿入します。

- アンテナ本体が壁面取付金具に対して水平になるように挿入します。

底面



マスト・ベランダに設置する場合

マスト・ベランダ設置に必要なもの
取付けには、レンチが必要です。

ご注意

アンテナを地面などに置くときは、アンテナの前面に傷が付かないように、シートなどを敷いてください。

1. 壁面取付金具のアンテナ本体への取付け

アンテナ本体の方向固定ボルト挿入部に、壁面取付金具の方向固定ボルトを挿入し、方向固定ボルトを付属のレンチ(B)で締付けます。
[ベランダ(角柱)に取付けるときは、仮締めでかまいません]

ご注意

壁面取付金具は上下逆に取付けないでください。

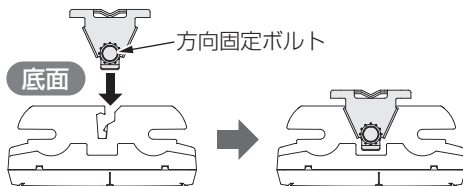
壁面取付金具を取付ける位置

アンテナを向ける方向により、壁面取付金具を取付ける位置(方向固定ボルト挿入部)を選択します。

●p.8「アンテナの取付位置と可動範囲」を参考にしてください。

中央に取付ける場合

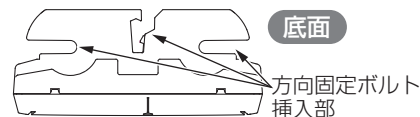
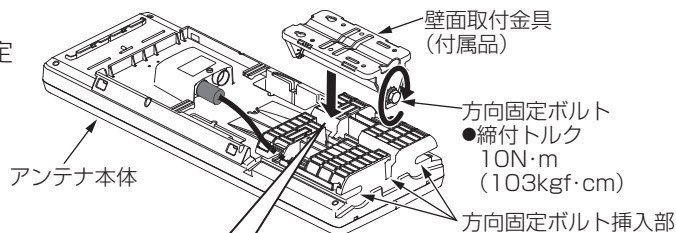
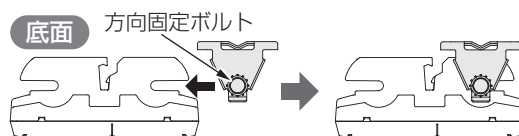
方向固定ボルトを、奥に音がするまで押し込みます。



右側または左側に取付ける場合

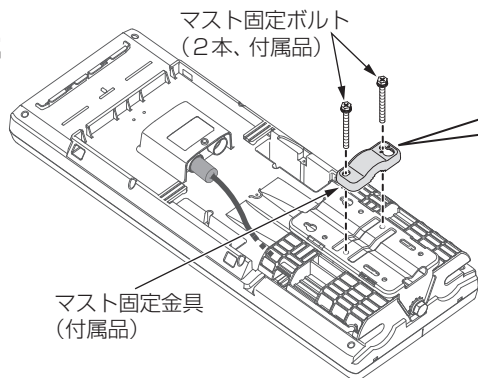
方向固定ボルトを、奥に音がするまで挿入します。

●壁面取付金具がアンテナ本体に対して水平になるように挿入します。



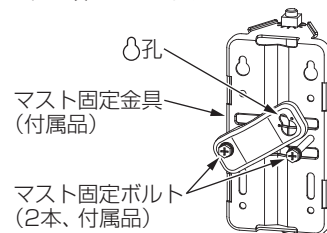
2. マスト固定金具の取付け

付属のマスト固定金具を付属のマスト固定ボルト(2本)で取付けます。



マスト固定金具の取外し

マスト固定金具の○孔をマスト固定ボルトから外します。
(角柱・マストに取付後、再度○孔をマスト固定ボルトの頭にはめます。)

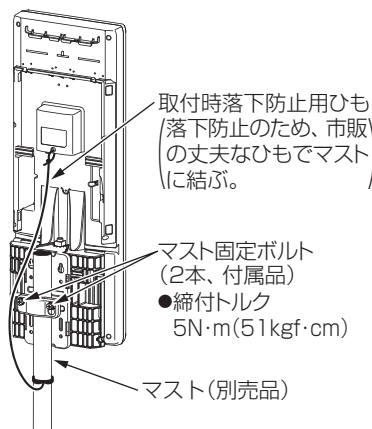


3. マスト・ベランダへの取付け

マストに設置

適合マスト径
φ22～49mm

マストに通して、マスト固定金具の○孔をマスト固定ボルトの頭にはめ、付属のレンチ(D)でマスト固定ボルト(2本)をアンテナが左右に動く程度に仮締めします。



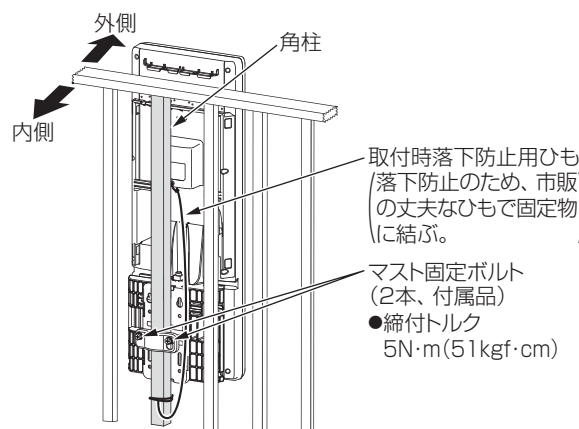
ご注意

- マストは垂直になるように建ててください。
- マストは強風でも倒れないように、しっかりと建ててください。
- 2本のマスト固定ボルトは均等に締付けてください。
- インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は使用しないでください。

ベランダに設置

適合角柱寸法
25×25～45×45mm

マスト固定金具の○孔をマスト固定ボルトの頭にはめ、付属のレンチ(D)でマスト固定ボルト(2本)を均等に締付け、垂直になるように設置します。



ご注意

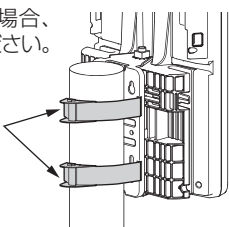
- 設置する前に、ベランダのフェンスの強度を確認してください。
- アンテナは太い角柱部分に取付けてください。
- コンクリートフェンスなどに取付ける場合、別売のコンクリートフェンスベースをご使用ください。
- 2本のマスト固定ボルトは均等に締付けてください。
- インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は使用しないでください。
- ベランダ設置で壁面取付金具を右側または左側に取付ける場合は、柱のサイズによって可動範囲が異なります。
□25×25mm 角柱の場合:52° φ22mm 円柱の場合:32°

ステンレスベルトでの取付け

直径が49mmを超えるマストに取付ける場合、市販のステンレスベルト(2本)を使用してください。



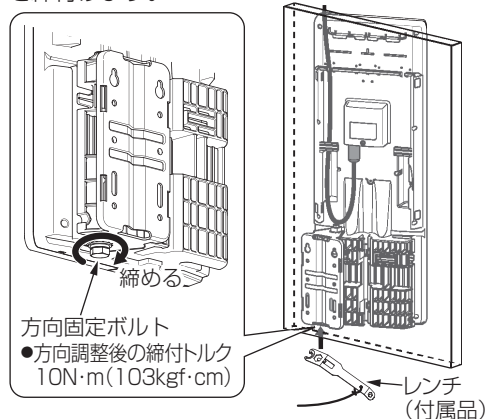
ステンレスベルト
(市販品、2本)
幅20mm



4. アンテナを固定する

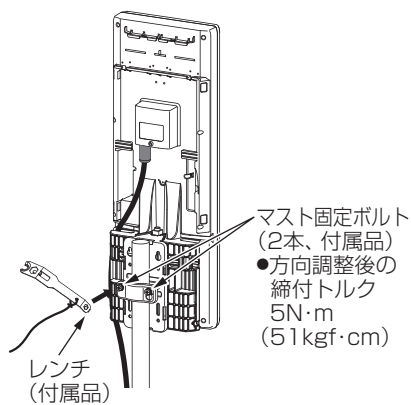
壁面設置

調整後、付属のレンチ(B)で方向固定ボルトを締付けます。



マスト設置

調整後、付属のレンチ(D)でマスト固定ボルト(2本)を均等に締付けます。



ご注意

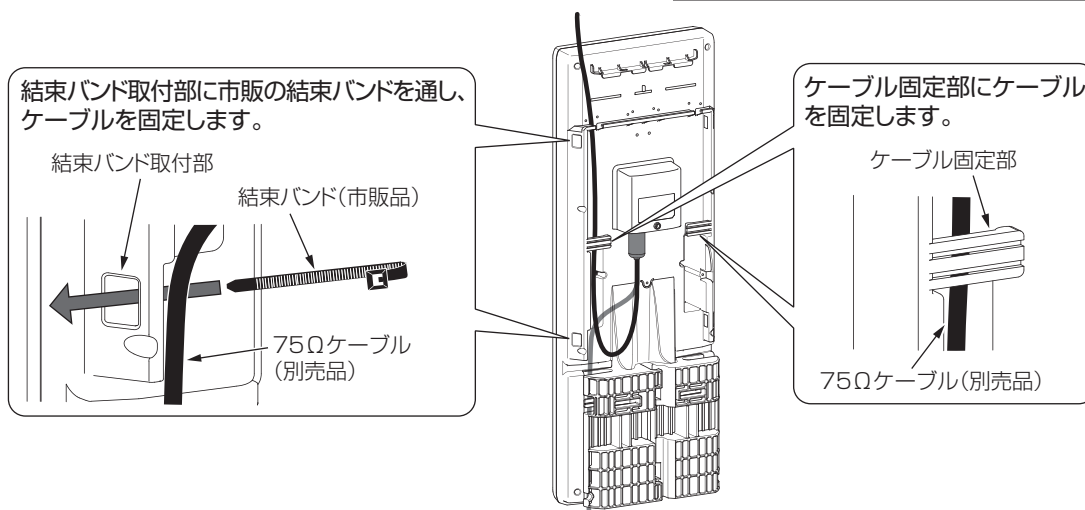
- 障害物があり、見通しの悪い場所などでは受信できないことがあります。
- 受信レベル(アンテナレベル)は、アンテナの高さでも変わります。高い場所に設置すると、受信レベルが高くなる場合があります。
- 設置後に建物などの環境変化により受信できなくなることがあります。
- インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は使用しないでください。

ケーブルの固定方法

ケーブルはアンテナ背面に下記の2通りの方法で固定できます。

ご注意

別売の75Ωケーブルを引き回す場合、ケーブルの曲げ半径を35mm以上にしてください。受信できなくなる場合があります。



アンテナの取外し方

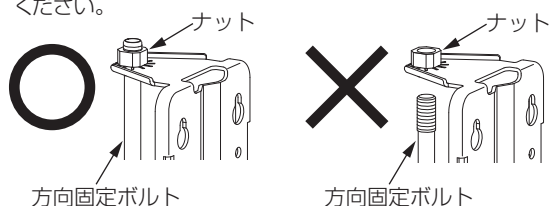
1. 方向固定ボルトをゆるめる

付属のレンチ(B)で方向固定ボルトを、アンテナが左右に動く程度までゆるめます。



ご注意

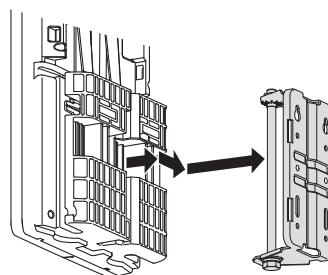
上面のナットから方向固定ボルトが抜けないようにゆるめてください。



2. 壁面取付金具を取外す

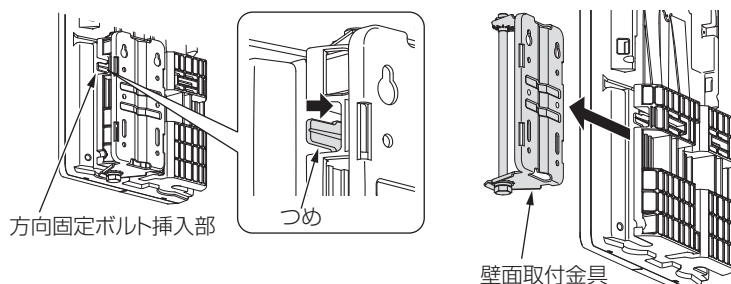
アンテナ本体の中央に取付けた場合

壁面取付金具を手前に引きながら、少し右にずらして引抜きます。



アンテナ本体の右側または左側に取付けた場合

アンテナ本体の方向固定ボルト挿入部のつめを起こしながら、壁面取付金具を引き抜きます。



テレビがきれいに見られないときは

画像が出ない

原因	処置
コネクタの取付け・ケーブルの接続方法が間違っている。	●コネクタが正しくケーブルに取付けられているか確認してください。p.5「1.ケーブルにF型コネクタを取付ける」をご覧ください。 ●ケーブルが、出力端子に正しく接続されているか確認してください。p.5「2.アンテナにケーブルを接続する」をご覧ください。
信号が来ていない。	●各ケーブルが、断線またはショートしていないか確認してください。p.5「1.ケーブルにF型コネクタを取付ける」をご覧ください。 ●F型コネクタの芯線が短かったり、芯線にあみ線(編組)やアルミ箔が触れていないか確認してください。p.5「1.ケーブルにF型コネクタを取付ける」をご覧ください。
受信ができていない。	再度方向調整をしてください。 p.8「アンテナの方向を調整する」をご覧ください。

画像にモザイク状のノイズが出ている



原因	処置
受信レベルが低い。	●症状が消えるように、アンテナの方向を調整してください。p.8「アンテナの方向を調整する」をご覧ください。 ●アンテナの設置場所や高さを变更后、送信塔からの電波が受信できるようにしてください。 アンテナとテレビを短いケーブルで接続すると地上デジタル放送を見られるが、ケーブルを長くするとモザイク状のノイズが出る場合、別売のUHFラインブースターを本機の出力端子に接続してください。

規格表

U2SWL20N

水平偏波用

AASPRO

項目	規格
受信チャンネル	ch.13 ~ 52
動作利得(感度)	7.8 ~ 9.8dB(実力値)
VSWR	2.5以下
前後比	10 ~ 17dB
半値角度	70 ~ 83°
インピーダンス	75Ω(F型端子)
耐風速	50m/s ※1
使用温度範囲	⊖20 ~ ⊕50℃
適合マスト径	マスト: φ22 ~ 49mm、角柱: 25×25 ~ 45×45mm
方位角度調整範囲	±75°
外観寸法 ※2	577(H)×210(W)×107(D)mm(壁面取付時) 577(H)×210(W)×168(D)mm(φ49mmマスト取付時) [アンテナ部: 577(H)×210(W)×48(D) ※3 mm]
質量(重量)	約2.2kg ※4 アンテナ本体: 約1.7kg

※1 破壊風速
※2 突起部を除く
※3 F型端子部、壁面取付金具固定部を除く
※4 壁面取付金具を含む

U2SWL26N

水平偏波用

AASPRO

項目	規格
受信チャンネル	ch.13 ~ 52
動作利得(感度)	8.4 ~ 10.2dB(実力値)
VSWR	2.5以下
前後比	12 ~ 18dB
半値角度	68 ~ 81°
インピーダンス	75Ω(F型端子)
耐風速	50m/s ※1
使用温度範囲	⊖20 ~ ⊕50℃
適合マスト径	マスト: φ22 ~ 49mm、角柱: 25×25 ~ 45×45mm
方位角度調整範囲	±75°
外観寸法 ※2	620(H)×240(W)×107(D)mm(壁面取付時) 620(H)×240(W)×168(D)mm(φ49mmマスト取付時) [アンテナ部: 620(H)×240(W)×48(D) ※3 mm]
質量(重量)	約2.5kg ※4 アンテナ本体: 約2.0kg

※1 破壊風速
※2 突起部を除く
※3 F型端子部、壁面取付金具固定部を除く
※4 壁面取付金具を含む

U2SWL20VN

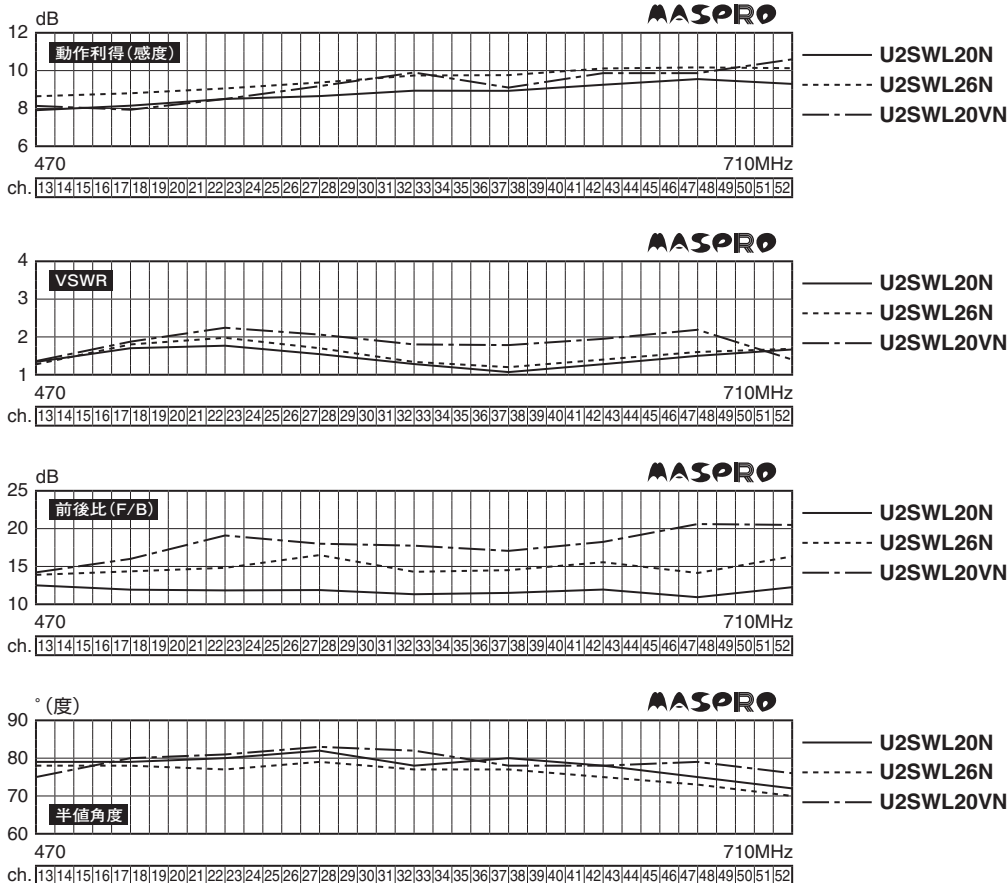
垂直偏波用

AASPRO

項目	規格
受信チャンネル	ch.13 ~ 52
動作利得(感度)	7.8 ~ 10.6dB(実力値)
VSWR	2.5以下
前後比	12 ~ 21dB
半値角度	72 ~ 90°
インピーダンス	75Ω(F型端子)
耐風速	50m/s ※1
使用温度範囲	⊖20 ~ ⊕50℃
適合マスト径	マスト: φ22 ~ 49mm、角柱: 25×25 ~ 45×45mm
方位角度調整範囲	±75°
外観寸法 ※2	620(H)×240(W)×107(D)mm(壁面取付時) 620(H)×240(W)×168(D)mm(φ49mmマスト取付時) [アンテナ部: 620(H)×240(W)×48(D) ※3 mm]
質量(重量)	約2.5kg ※4 アンテナ本体: 約2.0kg

※1 破壊風速
※2 突起部を除く
※3 F型端子部、壁面取付金具固定部を除く
※4 壁面取付金具を含む

性能



Master of Production
生産の覇者

2K58-054

TK-64-7054-1T



UHFアンテナ保証書

MODEL ☐ U2SWL20N、☐ U2SWL26N、☐ U2SWL20VN

(お買上げの製品の型式に
チェックを入れてください。)

持込修理

お客様ご住所	
TEL.	— —
★お客様お名前	
様	
★保証期間 (販売店記入欄)	
お買上げ日	年 月 日から 1 年間
★販売店名・住所 (販売店記入欄)	
TEL.	— —

★印の欄にご記入のない場合には保証サービスの提供ができません。
本書は再発行いたしません、紛失しないよう大切に保管してください。

＝マスプロ電気株式会社＝

本社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80

技術相談



0570-091119

ナビダイヤル。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは 052-805-3366
受付時間 9～12時、13～17時 (土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネット www.maspro.co.jp

保証規定

- 店舗購入の場合、故障した本製品 (以下「修理品」)、付属品、ご購入日を証明できる書類 (領収書など)、および本保証書を購入した店舗にお持込みください。
通信販売での購入の場合、修理品、付属品、ご購入日が確認できる書類、本保証書、および修理サービス申込書 (弊社ウェブサイトからダウンロード) を、弊社修理係に直接ご送付ください。
- お申込み後、弊社の選択により無償修理または無償で新品代替交換 (以下「無償修理など」) いたします。
なお、次の場合、無償修理などの対象となりません。
・必要な書類の提示がない、または書類の字句が書換えられた場合
・火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、戦争、暴動、テロ行為、破壊行為、公害、汚害、ガス害、異常電圧、またはこれらに類する原因による故障および損傷
・ご使用上の誤りによる故障および損傷
・不当な修理や改造による故障および損傷
・お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
・他の機器などにより誘発された故障および損傷
・特殊な環境下 (例えば車両・船舶への搭載など) で使用されたことによる故障および損傷
・設置工事、施工の不備によって生じた故障および損傷
・消耗部品の交換
・日本国外で購入もしくは使用された機器の故障および損傷
・その他、上記に準じた理由により無償修理などが適切ではないと弊社が判断した場合
- 店舗への持込費用、または弊社修理係へご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。
- 適切な梱包のうえ、受渡しの確認ができる手段 (宅配など) でご送付ください。弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
- 無償修理などを行なった場合、本製品は原則として工場出荷状態でご返却いたします。
- お客様が弊社の保証サービスに関連して弊社の責に帰すべき事由により損害を被った場合、お客様は現実に発生した直接かつ通常の損害に限り弊社に請求できるものとします。弊社が負担する損害賠償の総額は、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
- 修理品に貼付けられたシール、装飾品、塗装、および刻印などについては、弊社は責任を負いません。
- 製品の故障によって発生した設置工事費、人件費など、および故障により製品を使用できないことによる逸失利益、代替品の費用などの損害については、弊社は一切の費用負担を行いません。
- 交換の場合、交換された製品・部品の所有権は弊社に譲渡されます。
- 交換または修理完了後の保証期間は、元の保証期間の残存期間の満了日、または製品引き渡し後6か月の満了日のいずれかの長い方とします。
- お客様宛に送付した本製品が宛先不明などの理由により弊社に返送され、弊社の通知後1か月経過後も回答がない場合、お客様が本製品の所有権を弊社へ移転することに同意したものとみなします。
- 弊社が無償修理などの手段として代替品との交換を選択した場合に、修理品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただくことがあります。
- 譲渡品、中古品、転売品 (オークション購入などを含む) については、この規定に記載される保証の適用範囲外とします。
- 本製品の修理期間中、代替機器の提供は行いません。
- 本製品の出張修理は行いません。
- 本保証サービスは、日本国外からは利用できません。

本保証書は、当社以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

＝マスプロ電気＝

- 製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。
- この製品を廃棄する場合、排出する自治体のルールに従ってください。

APR., 2026